

春のよき日



文責(校長 白濱忠昭)

1 「あいさつ称賛カード」への取組、ありがとうございました。

4月15日(月)から19日(金)まで、親子であいさつへの意識を高めることを目的として「あいさつ称賛カード」に取り組んでいただきました。取組中やその後、正門や裏門に立っていると、明らかに意識して頑張っている子どもが増えて、少しずつですが成果を実感しているところです。親子での取組の素晴らしさだと思います。ご家庭ではいかがでしょうか。

全児童の7割(70.0%)から取り組んだカードの提出がありました。提出されたカードを見て、子どもや保護者の方の関心の高さがうかがえました。それは、多くの方が、【取り組んでの感想】の欄に、「気持ち」をご記入いただいたことです。これまでこうしたアンケートをとると、記述欄は未記入というのが多い経験をしてきたので、とても嬉しかったです。いくつか紹介します。



<爽やかなあいさつ>

- 朝のスタートにおはよう!!とあいさつしてくれると清々しい気持ちになりますね。あいさつの声で子どもの体調も分かるし、あいさつをすると気持ちいいなって少しずつでもわかってもらえたらと思います。まず親が、大人が見本を見せないと子どもは実行しないと思いますので、実行したいと思います。
- あいさつは基本であると常日頃から小さい頃から話しています。あいさつを返してくれない子どもたちにも毎朝話をしますが、なかなか難しいですね。
- 日頃、家庭でもあいさつの大切さを伝えていますが、まだ身に付いていないようです。このような取組があれば、周りからも声がかかり、子どもたちもあいさつを返しやすく、学校全体がそのような雰囲気になれば、子どもたちも自然と意識が高まるのではないかと思います。引き続き家庭でもあいさつの大切さを伝えていきます。

このまま返却するのは忍びなく、10連休を利用し、それぞれに一言書かせていただき、担任時代に使っていた確認ハンコ(30代の自画像)を少々取り出して押ししております。返却しますので、今一度カードを親子で見られ、あいさつについて話題にしていただけると幸いです。(提出忘れの方は今からでも大丈夫ですよ。)

まだまだ十分ではありません。継続して言葉かけ等、取り組んでいきましょう。

2 「ひとひねり」で頑張る春日っ子

4月からの子どもたちの様子を見てみると、

- ・ 休み時間の使い方を工夫して、1年生とふれあう6年生の姿
- ・ 登校中の言動を工夫して、低学年の安全を確保する上級生の姿
- ・ 学習に対する気持ちを切り換えて（工夫して）、教室で学び続ける姿
- ・ 友達に対する気持ちを切り換えて（工夫して）、優しい言動を心がける姿

など、「ひとひねり」して頑張る姿を目にすることができます。「ひとひねり」つて、いったいどんなことでしょうか。始業式の日、次のような話をしました。

昨年度まで、「共にみんなで」を合言葉に、学校全体で「廊下歩行」や「くつならべ」など、いろいろなことに取り組んできました。今年度は、続けて「共にみんなで」取り組む中で、みんなの「輝く姿」をいっぱいつくりたいという気持ちを込めて「共に輝く」を合言葉にしていきたいと思います。

では、「輝く」ためにはどうしたらいいのでしょうか。ヒントになることをしていきますよ。これを見てください。（テープで作った輪を提示）テープの真ん中から切っていきますね。どうなると思いますか。（実演）そう、2つの輪になりました。

当たり前の結果ですね。次に、テープを半分ひねって貼り付け、輪にして切ってみますよ。どうなると思いますか。（メビウスの輪で実演）あれ、大きな輪になりました。最後にもうひとひねりして輪を作って切ってみますよ。どうなると思いますか。（実演）あら、絡んだ2つの輪ができました。面白い結果になりましたね。



このように、「輝く」ためには、ひとひねり（工夫）することが大切です。いつもと同じだと、当たり前の結果しかできませんが、ひとひねり（工夫）すると、更によくなったり、新しくできるようになったりするんですよ。進級したこれからは、今まで通りではなく、ひとひねり（工夫）して、学校生活を過ごし、共に輝いていきましょう。

子どもたちは、新しい年度を迎え、1学年上がった学級で気分を一新し、それぞれに目標を立て、ひとひねり（工夫）する新たな自分でスタートしています。また、元号も「令和」になり、更に心機一転の気持ちを高めています。ご家庭でそのような姿が見えた時は、是非称賛し、弾みを付けさせてください。中には、新たな自分でスタートすることに、もう一押しが必要な子どももいるようです。保護者の皆さんから「牛車を押す仏様の指」のごとく、温かく励ましていただくことを願っています。どうぞよろしくお願ひします。



<1年生を守る上級生>

..... 切り取り

※ ご意見、ご感想がありましたら、子どもたちを通して、ご連絡ください。